

(令和7年度)
自己評価書

園番号	園名
706	奈良市立帯解こども園

706奈良市立帯解こども園

大項目	中項目	小項目	具体的評価項目及び指標	取組と成果	評価	評価の観点・理由	課題及び改善方策
I 教育・保育活動に関するもの	(1) 教育・保育目標/計画	① 教育・保育目標の設定	<ul style="list-style-type: none"> 全職員が園の教育保育目標を理解し、具体的な取り組みをする。 目標達成のための姿を踏まえて、計画を作成し実践する。 保護者へのアンケートを実施し、教育・保育活動の検証を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画のもとに、共通理解し検討しあい取り組みを進めた。 子どもの姿を捉え、一人一人に応じた教育・保育に取り組んだ。 園関係者や保護者向けに行事ごとのアンケートや年度末に園評価を実施し、評価を得ることができた。 	a	<ul style="list-style-type: none"> 園目標や計画に基づいて、子どもの園生活や遊びや行事に教育的目標が達成できるように意識して取り組むことができたか。 アンケート結果による。 	<ul style="list-style-type: none"> 目指す子ども像と実践がつながるように、計画や保育内容を定期的に見直していく。
		② 教育・保育計画の作成			a		
		③ 教育課程/全体的な計画の編成			a		
		④ 教育・保育活動の評価			a		
	(2) 教育・保育内容/指導	① 指導計画の立案	<ul style="list-style-type: none"> 発達や子どもの様子に応じて毎月の指導計画を見直し計画する。 地域の力をいかした保育内容を取り入れている 園内研修や事例を通して課題を明らかにし、次の保育につなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> 発達や遊び、子どもの姿から、各学年で指導計画の見直しや研修会を実施した。 園内研修を各クラス実施し、援助や環境構成の工夫や課題を出し合い、見直しを図った。 	a	<ul style="list-style-type: none"> 職員全員が、子どもの遊ぶ姿や興味関心を捉え、環境構成や援助に取り組むことができた。 地域の協力を得ることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 更に子ども自ら遊びをつくりだし、没頭して遊ぶための環境構成と援助の仕方をさぐる。
		② 保育内容の精選			a		
		③ 指導方法の工夫改善			b		
		④ 評価			a		
	(3) 園行事	① 指導計画の立案	<ul style="list-style-type: none"> 行事の目的や内容について子どもが主体的に進められるものにする。 前年度の取組の課題から、行事内容の精選と工夫を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な行事において、子どもたちの遊びの延長上での行事として主体的に取り組んだ。 	a	<ul style="list-style-type: none"> 子どもが遊ぶ姿や、興味関心を持ったことを通して、内容を検討し行事を進めていった。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもが発表する姿の行事については、保護者にそれまでの過程を知らせていく。
		② 行事内容の精選			a		
	(4) 人権教育	① 人権教育指導計画の立案	<ul style="list-style-type: none"> 年間計画を職員間で共通理解する。 様々な人との関わりにより、豊かな心が育まれるような保育内容の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育者自身が、確かな人権感覚を持ち一人一人の子どもを尊重する。 日々の生活の中で、様々な場面で命の大切さや、自分ほかけがえのない存在であることを伝え共有していった。 地域の方と触れ合う機会を多く持った。 	a	<ul style="list-style-type: none"> 様々な人との関わりを通して、自分も大切にされる存在であるという気持ちや友達に対して優しくする気持ちが育ってきている。 	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の良さを認め伝えていく取組を引き続き実践する。
		② 保育内容の精選			b		
		③ 指導方法の工夫改善			b		
	(5) 生徒指導	① 組織的な指導	<ul style="list-style-type: none"> 些細なことでも報告、連絡、相談をする。 子ども一人一人の理解をし、保護者の思いを受け止める。 家庭との連携を常に図る 	<ul style="list-style-type: none"> 課題を保育者間で共有した 子どもの様子や保護者の思いを園全体で共有する 	b	<ul style="list-style-type: none"> 素早い対応や園と家庭との連携、職員間の連携の大切さを感じている。 子ども一人一人の様子を十分に把握するように努めたか。 保護者が少しでも、園に相談したいという雰囲気があり、実際に相談があったか。 	<ul style="list-style-type: none"> 配慮が必要な保護者への適切な対応をさらに強化する。 日々の生活の中で、子どもの実態を把握する。 保護者との信頼関係構築のため、日々のコミュニケーションを心がける。
		② 教育相談・こども理解			a		
		③ 家庭との連携			a		
		④ 関係諸機関との連携			a		
		⑤ いじめ・児童虐待問題について	<ul style="list-style-type: none"> 対処方針や指導計画が明確である 日頃より実態把握・早期発見に努めている 各学級の状況を園組織として共有できている 保護者や地域と連携できている 組織的に迅速に対応する体制が整備されている 	<ul style="list-style-type: none"> 職員間で情報の共有を図り、一人一人の実施把握に努めることができた 保護者や関係機関と連絡を密にし、早めの対処を行った 	a		
	(6) 特別支援教育	① 推進体制	<ul style="list-style-type: none"> 研修への参加や特別支援教育に関する理解を深め、全員で共有し長期・短期の支援計画を立案する。 保護者の思いや考えを尊重しながら進める。 関係機関と連携を図り、適切な援助をおこなう。 	<ul style="list-style-type: none"> 支援を要する子どもについて、全職員で共通理解し関わることができた 特別支援教育コーディネーターと、連携を取りながら、個別の支援計画を立案した 専門機関につなげたり、支援に関する指導をうけたりしながら、丁寧に関わることができた 	a	<ul style="list-style-type: none"> 保護者との信頼関係の中で支援を進めることができ、就学への不安が解消したり日々の生活の安定へとつながった。 	<ul style="list-style-type: none"> 支援を必要とする子どもへの理解と適切な支援が行えるよう、研修等に参加し各々が自己研鑽に努める。また、研修報告を通して園内共有を心がける。
		② 個々に応じた特別支援教育の内容			a		
		③ 指導方法の工夫改善			a		
		④ 家庭との連携			a		
		⑤ 関係機関との連携			a		

(令和7年度)
自己評価書

園番号	園名
706	奈良市立帯解こども園

706奈良市立帯解こども園

大項目	中項目	小項目	具体的評価項目及び指標	取組と成果	評価	評価の観点・理由	課題及び改善方策
Ⅱ 園 経 営 に 関 す る も の	(1) 組織運営	① 園長のリーダーシップ	<ul style="list-style-type: none"> ・教育方針や園経営について考えを明らかにし、リーダーシップを発揮する。 ・職員の適性を判断して配置を行い、一人一人のよさが伸びるようにする。 ・職員間の意思疎通を図り、職場の人間関係を構築する。 ・会議の運営と位置づけ ・会議の結果 ・職場の人間関係 ・園評価の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びの重要さと、発達に即した指導や経験を共通理解し、保育の方向性を明らかにすることができた。 ・園評価や保護者アンケートの実施により、園としての課題が明らかになった。 	b	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの遊びや研究主題に即した教育目標に取り組み、園目標を意識して日常の保育にあたっている。 ・職員が自分の立場を意識して役割を果たすことができた。反面各取り組みに、積極的に中心となる姿があまり見られなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員一人一人が、園運営への積極的な参加を、意識できるような働きかけが必要である。
		② 園経営目標・方針					
		③ 職員の適正配置と運営への参加意識					
		④ 園務分掌等の連携					
		⑤ 会議の運営と位置づけ					
		⑥ 会議の結果					
		⑦ 職場の人間関係					
		⑧ 園評価の実施					
	(2) 研究・研修	① 資質の向上をめざした組織的・計画的な園内研修の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・園研究主題を設定し、職員全員で取り組む。多園の公開保育や研修に参加し、得たものを保育にいかす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修で得たことを園内で発表、報告する機会を持った。 ・園内で研究主題に沿った事例の研修を全職員で行った。 	a	<ul style="list-style-type: none"> ・事例や園内研修会を通して、各年齢の発達の理解や育ちや学びを確認し、職員相互で学び合うことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園外での研修会参加については、参加人数が限られているため、学んだことを園内で発信できるような体制を作っていく必要がある。
		② 保育改善を目指した保育研究・実践の実施					
		③ 園外の研修への積極的参加					
		④ 園外研修内容の共有					
		⑤ 研修成果の普及					
	(3) 安全管理	① 安全計画の立案	<ul style="list-style-type: none"> ・安全管理マニュアルをもとに、避難・防災訓練計画を立案する。 ・毎月の避難訓練や地域と連携して、防災訓練を行なう。 ・交通安全教室を計画し、交通安全への意識を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全計画・防災計画を全員で見直す。 ・毎月の避難訓練では、ねらいをもって行うことができた。 ・女性防災クラブの方や消防士の方との、避難訓練を実施することができた。 	b	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の避難訓練や、交通安全教室への参加により、子どもも職員も安全意識が高まった。 	<ul style="list-style-type: none"> 常に危機管理意識を持ち、子ども達の安全確保に努められるような意識の向上。
		② 防災計画の立案					
		③ 危機管理体制の整備					
		④ 安全指導の工夫改善					
		⑤ 家庭との連携					
		⑥ 関係機関との連携					
	(4) 保健管理	① 保健計画の立案	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの健康状態を把握を行い、感染症が起きた場合の対応や対処について職員で共通理解し、実践に生かせるようにする。 ・感染症情報を発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・管理衛生のマニュアルの内容を十分理解し、職員は意識を高く持つ。 ・保護者の目につきやすい場所に、感染状況をリアルタイムで掲示し、注意喚起を行った。 	a	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症予防についての関心が高まり、全職員が予防方法を理解し、危機感を持って取り組むことができた。 ・保護者への啓発も行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康管理については、全職員かなり危機感を持って取り組んでいる。引き続き保護者への情報発信や、拡大防止のための啓発を随時行う必要がある。
		② 心のケアや健康相談の体制の整備					
		③ 健康観察、健康管理能力の育成					
		④ 関係機関との連携					
		⑤ 昼食（給食等）の衛生管理					
	(5) 地域との連携	① 園情報の発信	<ul style="list-style-type: none"> ・園日よりクラス日より・長時間日より乳児組日より、子育て支援だよりなどを通して、園の取り組みを発信する。 ・ホームページの発信を行い、園の様子をタイムリー発信する。 ・地域の教育力を保育に取り入れる。 ・小学校との連携を密にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月発行する便りを配布し、園の様子や取り組みを伝えた。 ・地域の方を行事等に招いて保育の公開を行ったりして、子どもの姿を見てもらった。 ・小学校の先生を、園内研修や作品展に招いて、子どもの姿を見て頂き、こども園に関心をもってもらった。 また、小学校の児童を作品展に招いた。 	a	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との連携や他園・小学校との連携は、積極的にすすめた。 ・ホームページや、クラスのドキュメントを保護者の方が見える場所に掲示することで園の様子を知ってもらえる機会となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、小学校へ働きかけながら、お互いの教育内容の理解を深め、スムーズな接続につなげる。
		② 園(保育)公開					
		③ 小学校との接続・連携					
		④ こ幼保との連携					
⑤ P T A・保護者会の活性化							
⑥ 地域教育協議会との連携							
⑦ 学校関係者評価の実施							
(6) 施設・設備	① 保育環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・施設点検を行い危険箇所や改善箇所を把握し、整備する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月安全点検の実施を行い、不備な箇所は改善に向けて努めた。 	a	<ul style="list-style-type: none"> ・園内環境の改善・有効活用に向けた全職員の共通理解の機会をもつことができた。施設内の不備な箇所についてはその都度、担当課と連携して改善した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員で教育保育環境の整備について共通認識を持つ機会をもち、一人一人が必要な性を理解した上で取り組んでいきたい。 	
	② 施設設備の有効利用						
	③ 施設設備の管理						
(7) 情報管理	① 公文書の收受・保管	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の管理には、職員全員で共通理解のうえ万全を尽くす。 ・個人情報の管理は、徹底して行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の取り扱いや、関係機関とのメールのやり取り等には、細心の注意を払うことを注意喚起し、管理を徹底した。 	a	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の管理は、マニュアルを順守し、データの出し入れの記録簿を作成して鍵のあるところで保管した。 ・メール送信の際は、複数の目で確認することを徹底した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報等の取扱いについては、個々の意識を高め、業務を行えるように努めている。 	
	② 公文書の作成						
	③ 個人情報の管理・保護						
	④ 情報の収集						
	⑤ 電子媒体の管理						